

イギリスの暮らしへの招待状



Spring 2012

**R
S
V
P**

répondez s'il vous plait

No.9

[アールエスブイピー]

王室御用達の ロンドンへ



SALE

ROYAL WARRANT

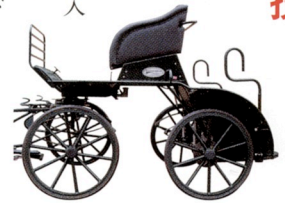


房には古き良きイギリスの職人魂が息づいている。年間台を製産するがすべて手づくり。／右下：マートさんと一さん。「御用達の榮譽はなにもにも代えがたいもの」。パレスの園遊会には8回も招かれたそう。／下左：インバラ公御用達の紋章が誇らしげ



エディンバラ公のお気に入りは馬車競技 ノーフォークの 馬車メーカーを訪ねて

ギリシャ生まれの キャリッジ競技



6月に91歳を迎えるエディンバラ公のお気に入りは、小型馬車のキャリッジ・ド・ライビング競技。国際大会にイギリス代表で出場するほどの腕前で、キャリッジ連盟の会長を務めたこともある。王室の館があるノーフォークのサンドリンガムの野原をヘルメット姿で馬車を走らせる勇姿が地元では有名だ。キャリッジの始まりは紀元前1500年頃のギリシャというが、元をたどればご先祖がギリシャ系の殿下、そのご執心ぶりが頷ける。

馬車の御用達はノーフォークにあるベニントン・キャリッジ社。キャリッジの色はブリティッシュ・シュ・レーシンググリーンという渋い緑。大陸製に比べ、イギリス製の車体はエレガントな曲線が特徴。工房のオーナー、マイケル・マートさんによると、「車輪は重い方が安全なのですが、殿下はスピードが出る軽いアルミ製が好み」だそう。

エディンバラ公はスポーツ好きで気さく。菌に衣を着せない辛辣なジョークも国民の注目の的。訪問先の国々で時に突いを誘い、



上：3人乗りの馬車を自ら巧みに操るエディンバラ公。木の切り株に乗り上げて馬車ごと地面に叩きつけられたことも。／右上：ベニントン・キャリッジはノーフォークの野原にこつ然と現れる。／右：娘のスーさんは競技の名手。／左：オフィスの壁には娘たちの競技会の写真が並ぶ



るが、この神話の英雄と、馬車に乗って疾走するエディンバラ公の颯爽とした姿が重なって見えてく
るようだ。

ラクレスが描かれている
エディンバラ公の
御用達の紋章にはギリ
シヤ神話の英雄ヘ
ラクレスが描かれてい
るが、この神話の英雄と、馬車に乗って疾走するエディンバラ公の颯爽とした姿が重なって見えてくるようだ。

スマス、殿下は胸の痛みを訴えて緊急入院し、心臓の手術を受けた。退院後、馬車に乗ると言い出したエディンバラ公を制する側近に「病人に見えるともいっのか?」と答え、周囲の心配をよそに、手術前と変わらぬ様子で田舎道を気持ちよさそうに馬車を走らせたという。



▷ Bennington Carriages : Moor Lane, Long Bennington, Nottinghamshire NG23 5GA Tel.01400 281280 www.benningtoncarriages.co.uk